

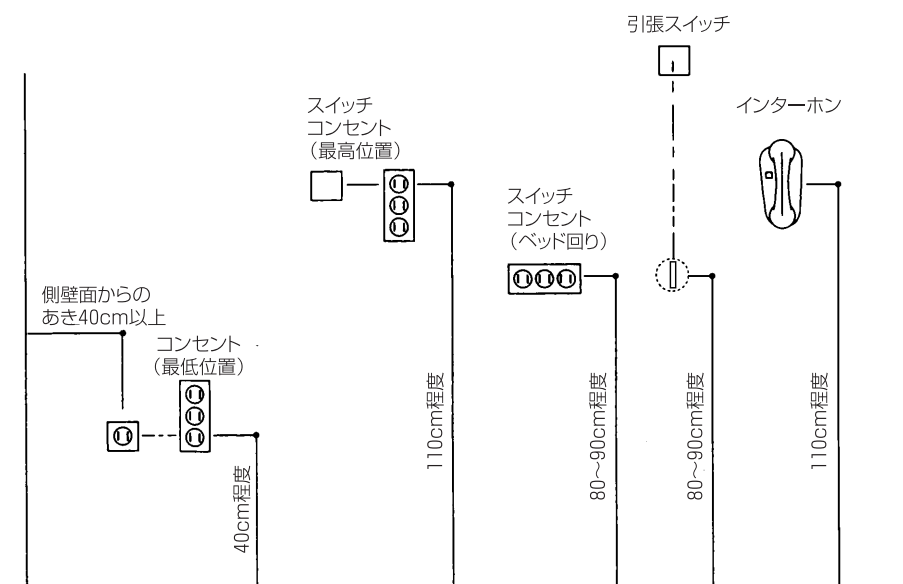
2 コンセント・スイッチ類

■基本的な考え方■

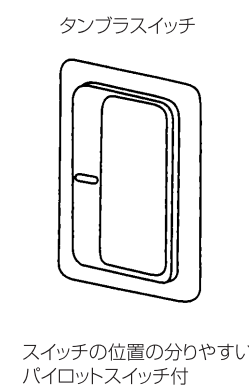
建物内の主要なコンセント・スイッチ類は、車いす使用者や立位の歩行困難者等が操作できる位置に設け、かつ、高齢者や視覚障害者等にとっても使いやすい形状とするように配慮する。

配慮事項		
項 目	解 説	
高さ・形状	<p>○コンセント、スイッチ類は、中心高さが床上40～110cm(ベッド周辺においては、80～90cm程度)の間に設置する。</p> <p>○インターホンは受話器及び操作部の中心高さが床上110cm程度となるように設置する。</p> <p>○側面に壁がある場合、車いすでの寄り付きを考慮して、空きを40cm以上確保する。</p> <p>○スイッチ、ボタン等は、大型で操作が容易なものとする。</p> <p>○コンセント、スイッチ類は、周囲の色との対比を明確にし、認識しやすいものとする。</p> <p>○同一用途のスイッチ類は建物内で統一したデザインとする。</p> <p>○必要に応じ、点字で表示する。</p>	

コンセント・スイッチ類の基本寸法



大型スイッチの例



使いやすいスイッチの例

